

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

A: 目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B: 着装カラー：着ている服の色動向

C: アイテム別動向：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など

注意：気温変化により、コートの数値に差が出る関係で、他アイテムとの比較に影響がでます。
以下のデータはコート抜きで作成しています。
10月下旬撮影ですが、11月編としています。

A: 目立つカラー (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー **1 色** を目立つカラーとする。

(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

(目立つカラーの設定上、低彩度方向、暗い方向は量的に少なくなる)

概要

日時 2022 年 10 月 28 日 21 度
2021 年 10 月 22 日 20 度

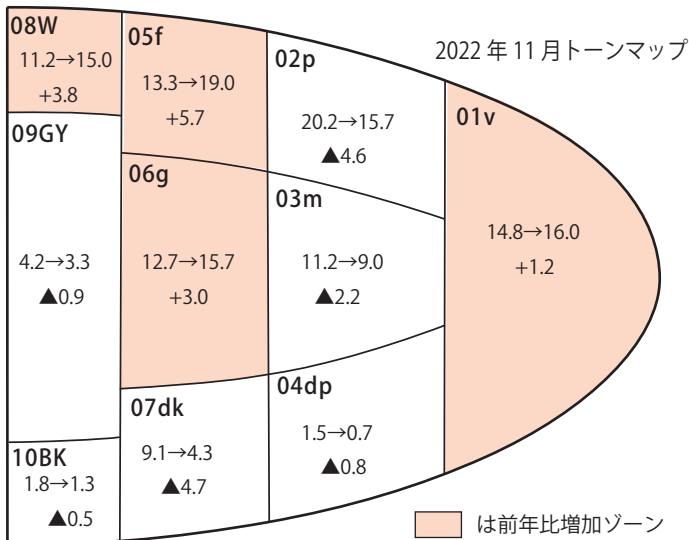
場所 神戸元町 (神戸大丸近く)
対象 20-50 代女性

棒グラフ対応カラー

2022 年 11 月 増減
2021 年 11 月

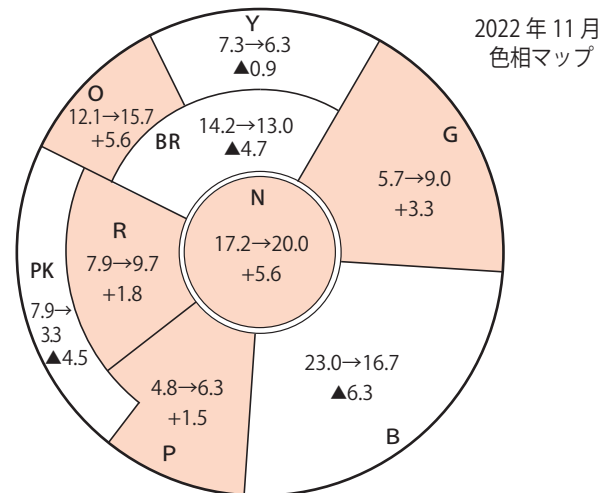
トーンの特徴

低彩度の f(かすかな)、g(灰み)、W 白の明るい方向が大きく増加
v(鮮やかな)が増加で続く
中彩度、暗い方向に減少が大きい



色相の特徴

ニュートラル、オレンジ、グリーン中心に、中性色、暖色系が大きく増加
レッド、紫が増加で続く
ブルー、ブラウン、ピンクが大きく減少 イエローが続く



具体的カラーの特徴

上記トーン別に色相の増減を見ると、より具体的なカラーがわかる

増加トーンで、増加色相は

- ・f(かすかな)では
オレンジ +3.2> 紫 +2.1 の順で増加が多い
- ・g(灰み)p(淡い)では
赤 +1.6> 茶 +1.4
- ・W(白)では、白 +3.8
- ・v(鮮やかな)では、緑 +2.5> オレンジ +1.2

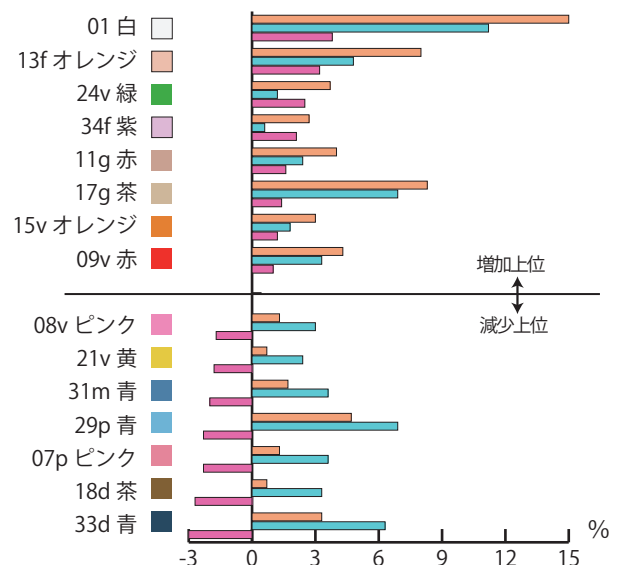
減少トーンで、増加色相は

- ・p(淡い)では、黄 +0.4> 紫 +0.2 のみ
- ・dk(暗い)では
緑 +0.7 のみ増加
- ・m(にぶい)では、緑 +0.2> 茶 +0.1 のみ

減少の大きいカラーは

右グラフの減少 7 色だが、それに続く減少は
p オレンジ -0.8 p 灰 -0.7
v 紫 -0.6 d 赤 -0.6 d 灰 -0.6

詳細な目立つカラー増減 順位 (上位)



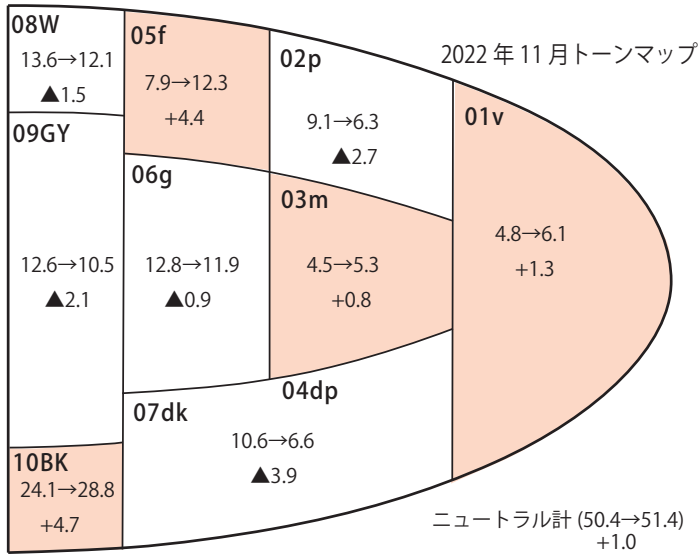
増加上位は白中心に薄い方向の暖色系が多い

f、g は 2 色、v は 3 色登場

減少は、青系、ピンク系、暗い方向が多い

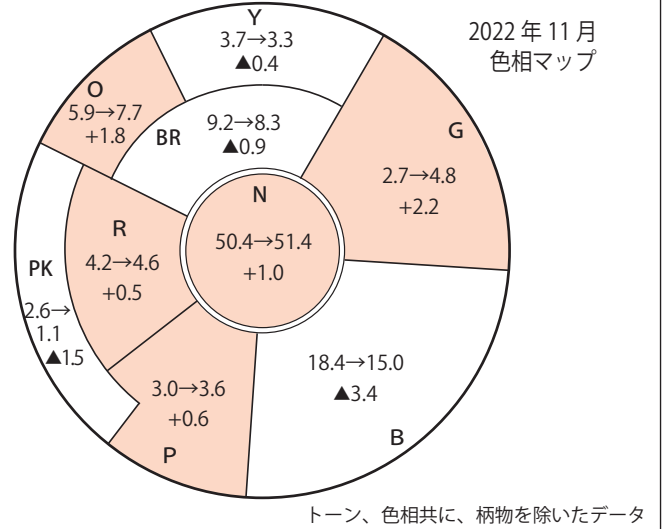
トーンの特徴

低彩度方向の f と BK が急増、v と m の高彩度方向が続く
反対に、明るいニュートラル方向、p とダーク方向が減少



色相の特徴

目立つカラー同様、中性色、暖色系が増加
グリーン、オレンジがリード
反対に、ブルーが大きく減少も、量的には有彩色で 1 位



具体的カラーの特徴

上記トーン別に色相の増減を見ると、より具体的なカラーがわかる

増加トーンで、増加色相は

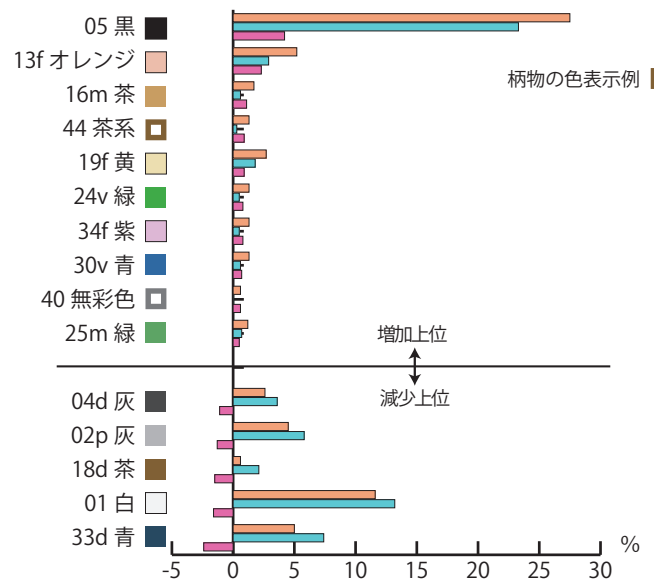
- ・ f (かすかな) では
オレンジ +2.3 > 黄 +0.9 > 紫 +0.8
減少はピンクのみ
- ・ v (鮮やかな) では
緑 +0.8 > 青 +0.7 > 赤 +0.5
- ・ m (にぶい) では、茶 +1.1 > 緑 +0.5
- ・ 黒 +4.7 で、増加、量共に 1 位

減少トーンで、増加色相は

- ・ p (淡い) では、紫 +0.4 のみ 他は全て減少
- ・ dk (暗い) では
緑 +0.3 のみ増加
- ・ g (灰み) では、赤 +0.2 のみ

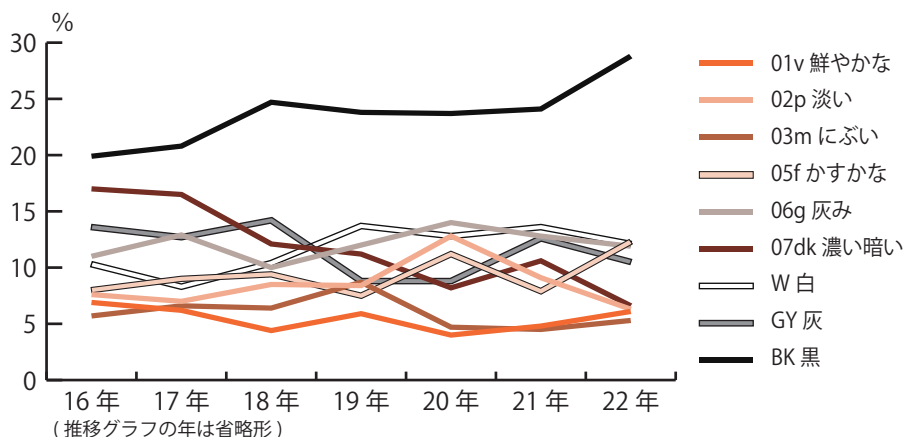
右の着装カラー増減グラフも合わせて参照下さい

詳細な着装カラー増減 順位 (上位)



増加 1 位の黒が急増、反対に白、灰色は減少
ニュートラル系、茶系、緑系が 2 色増加に登場

9 トーン別着装カラー推移 (2016 年～2022 年)



22 年までの 7 年間推移を見ると、
黒が安定 1 位も、22 年に更に増加、
反対に、ダークは減少傾向で目立つ
少しだが、鮮やかなが最下位を脱出
f かすかなが増加で続く
各年のリードトーンを見ると、
22 年は、黒、かすかな
21 年は、灰、暗い
20 年は、淡い、かすかな、灰み
19 年は、白、灰み、にぶい
18 年は、黒、白
となっている

C: アイテム別動向: カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真 (カラーナンバー 40 番から 49 番までは柄物)

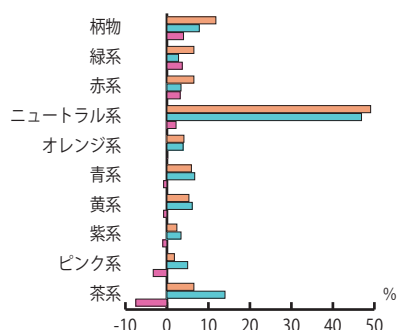
数の多い7アイテム(ブラウス、カットソー、ニット、ジャケット、スカート、パンツ、ドレス)について、着用動向を見ると、**ドレス、ニット(セーター、カーディガン)、ジャケット**が伸びでリード

量的にもニットはパンツ以上に多く登場

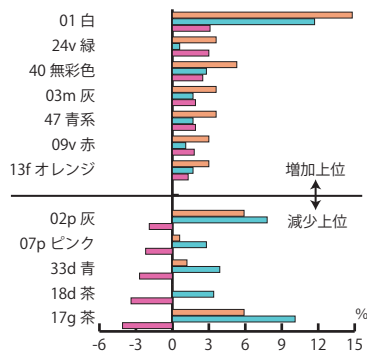
朝昼の寒暖差が続き、冬の寒さが予想される中、素材、着装などで、組み合わせ、柄、工夫した数々の着こなしが見られる写真は量的に少なくともデザイン的に工夫した数々、着こなしなど中心に拡大して掲載

セーター 色では、柄物、緑系、赤系、ニュートラル系がリード、反対に、茶系、ピンク系が減少
カーディガン 詳細では、ニュートラル(白、m 灰)、柄物(無彩色、青系)、ビビッド(緑、赤)が伸びる

集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



毛羽



袖口強調



ニュートラル系

22 年量	増減
01 白	14.8 +3.1
02p 灰	5.9 -1.9
03m 灰	3.6 +1.9
04d 灰	2.4 -0.4
05 黒	22.5 -0.4
40 無彩色	5.3 +2.5
計	54.4 +4.7

ローゲージ風



衿



飾り



無地柄



ゆったり



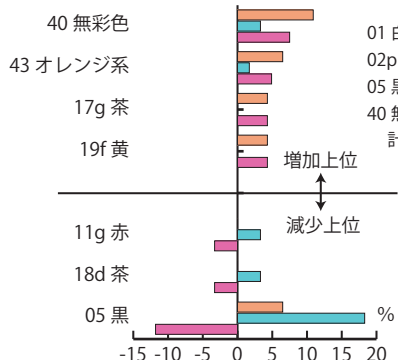
柄 幾何



ぼかし、無地調

ブラウス 色では、ニュートラル系と柄物に変化 黒が大きく減少、柄物増加は無彩色がリード

詳細カラー増減 (上位)



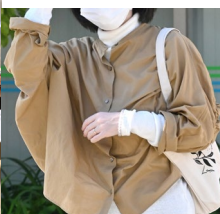
ニュートラル系

22 年量	増減
01 白	52.2 -1.2
02p 灰	2.2 +0.5
05 黒	6.5 -11.8
40 無彩色	10.9 +7.5
計	71.7 -4.9

袖強調



ボリューム



ボウカラー



シャーリング



柄 水玉、ストライプ



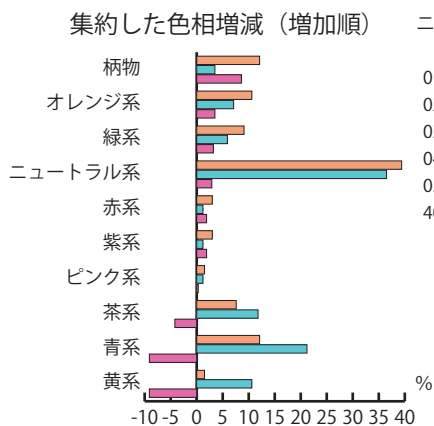
ジャケット

色では、オレンジ系、緑系、ニュートラル系がリード 柄物は無彩色が多い
詳細では、g 緑、白、黒と続く

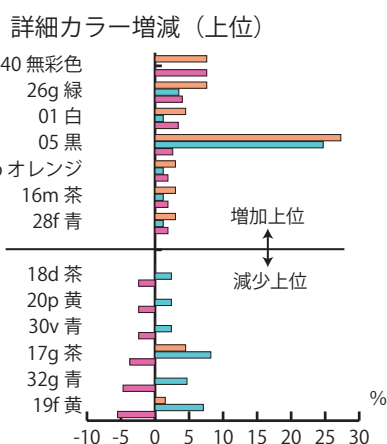
+ベスト

寒暖さてボリューム素材が多い

ファー、ボア、ダウン



ニュートラル系	22 年量	増減
01 白	4.5	+3.4
02p 灰	4.5	-1.3
03m 灰	3.0	-0.5
04d 灰	0	-1.2
05 黒	27.3	+2.6
40 無彩色	7.6	+7.6
計	47.0	+10.5



柄 チェック、ライン縁取り



毛羽



ボア

ブルゾン、パーカ



ジャンパー



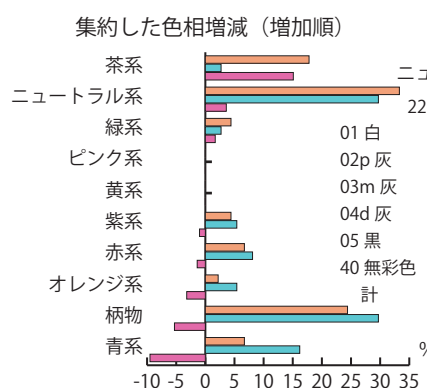
デニム



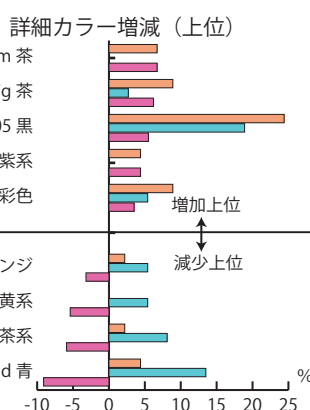
ドレス

色では、茶系、ニュートラル系、緑系がリード、灰以外のニュートラルが増加
ドレス丈はロングが減少分、長くなる方向と短くなる方向に分散

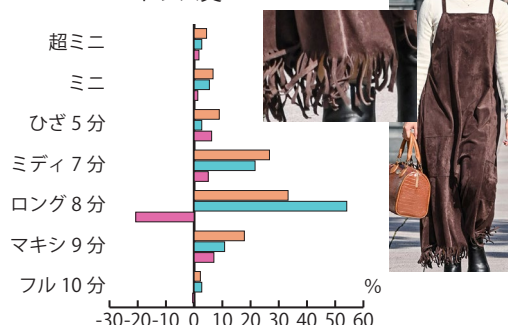
柄 小花、無地調



ニュートラル系	22 年量	増減
01 白	4.4	+1.7
02p 灰	0.0	-2.7
03m 灰	2.2	-0.5
04d 灰	2.2	-0.5
05 黒	24.4	+5.5
40 無彩色	8.9	+3.5
計	42.2	+7.1



ドレス丈



9 分丈周辺



ミニ丈周辺



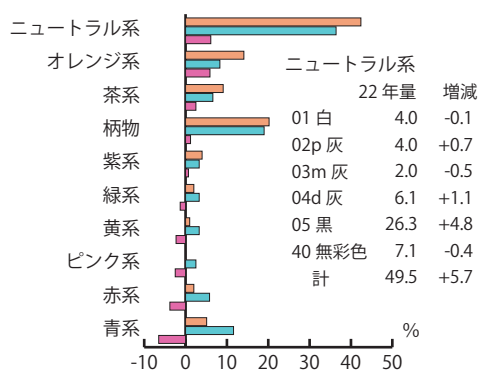
スカート

色では、ニュートラル系、オレンジ系、茶系が増加
詳細では、f オレンジ、黒、g 茶がリード

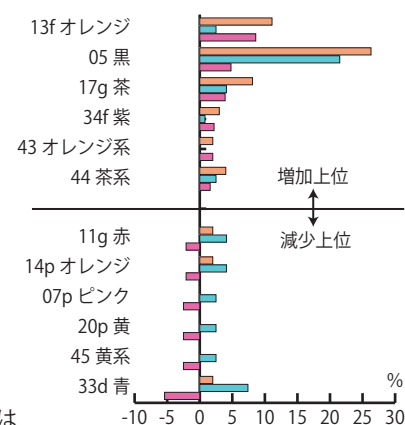
青系、赤系が減少

スカート丈では、8分、10分丈から分散傾向に

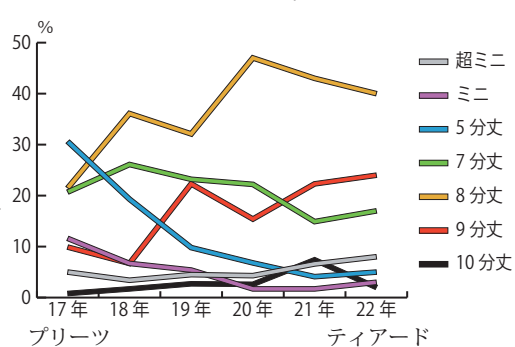
集約した色相増減（増加順）



詳細カラー増減（上位）



11月度 スカート丈増減（2017年～2022年）



マーメイド つなぎ



フレアー



スカート巾は
フレアー（6% ↓）よりストリート方向（7% ↑）

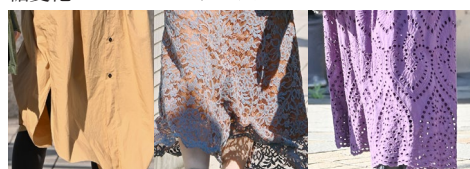
ストリート（スリット）



ミニ丈



裾変化



レース

表面変化



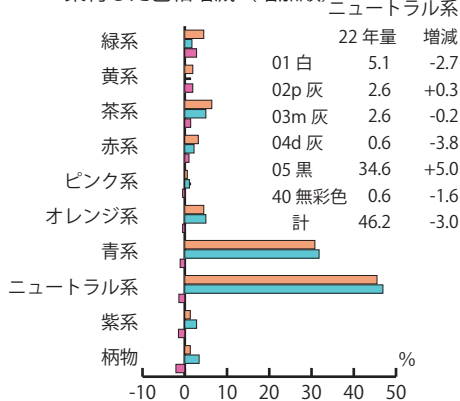
パンツ

色では、緑系、黄系、茶系がリードも、量的にはニュートラル系、青系が多い

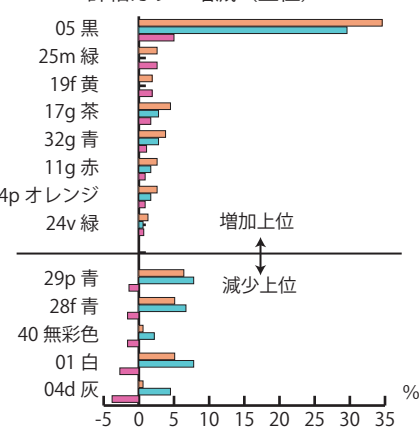
詳細では、黒が更に増加、緑系が2色登場

パンツ巾では、スリムよりストリート増加

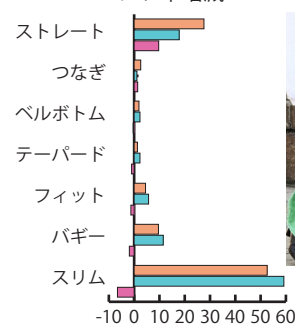
集約した色相増減（増加順）



詳細カラー増減（上位）



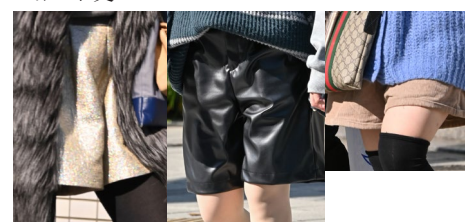
パンツ巾増減



ストリートなど



ショート丈



表面変化



裾飾り



裾ゴム

カットソー

ニュートラル系継続も、黒急増、白、灰が急減と対照的
紫系、オレンジ系が少し増加

スウェット



パーカー



ボタン



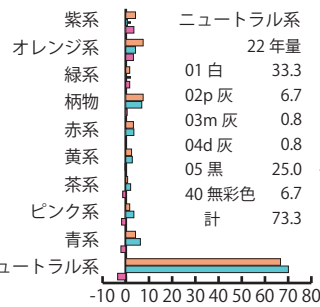
フリース



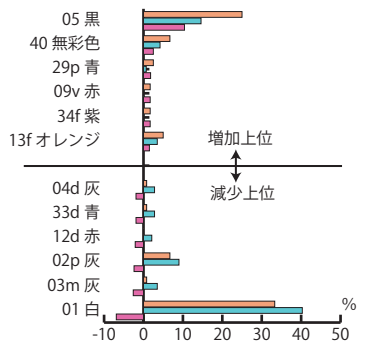
表面変化



集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



毛羽 X 毛羽なし



カットソー X 織物



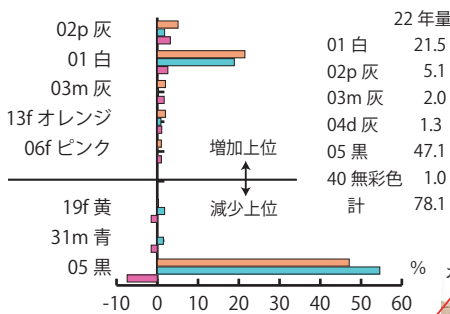
ボーダー



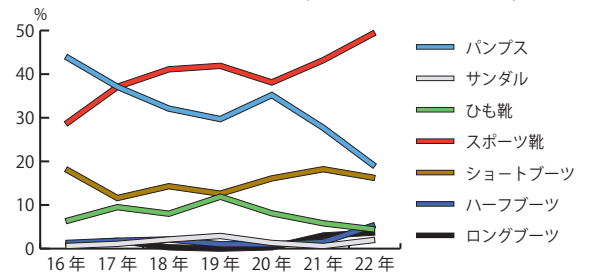
靴

色では、ニュートラル系が80%弱と健在 内容的には、黒が大きく減少、その分、白～m 灰が増加
靴タイプでは、スポーツ靴増加、パンプス減少 ブーツ計では増加傾向

詳細カラー増減 (上位)



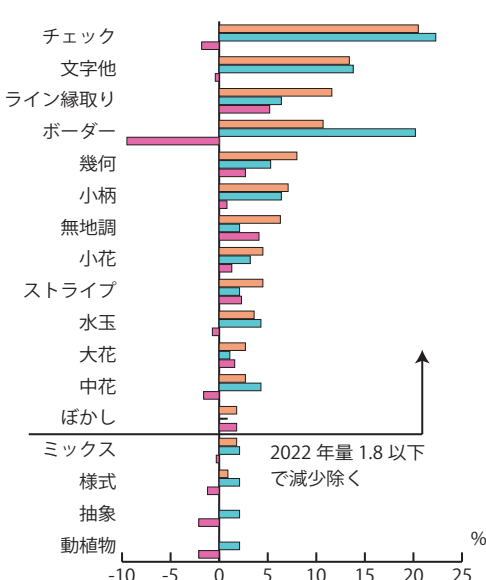
11 月度 靴タイプ推移 (2016 年～ 2022 年)



柄

量的には、総柄ではない文字他、ライン縁取り、無地調を除くと、チェック、ボーダーが多い 増加では幾何、ストライプと続く

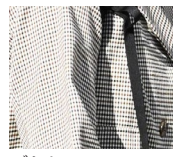
柄タイプ 量の多い順 (増減順は右の計 参照)



幾何



チェック



ぼかし



アイテム別 柄タイプ増減

柄で増加アイテムはジャケット、ニット、ブラウス

- ・ジャケットでは、チェック
- ・ニットでは、幾何
- ・ブラウスでは、水玉
- ・ドレスでは、小花 がそれぞれリード

(左柄量の少ない 4 柄は除く)

(0.8 ~ -0.8 は省略 計は除く)

	ジャケット	ニット	ブラウス	ドレス	パンツ	カットソー	スカート	計
ライン縁取り	1.8	3.2	-1.2	0.9	0.9			5.2
無地調		3.4		0.9	0.9		-1.1	4.1
幾何	0.9	4.0		-1.1	-1.1			2.7
ストライプ	-1.1		1.6		0.9		0.9	2.3
ぼかし		1.8						1.8
大花	0.9	0.9						1.6
小花				1.8			-1.2	1.3
小柄			0.9					0.8
文字他								-0.4
水玉			2.7				-3.2	-0.7
中花			-1.1				-1.2	-1.6
チェック	3.2		-1.1	-2.3	-2.3			-1.8
ボーダー		-3.7	-1.1			-2.6	-2.1	-9.5
全柄計	5.7	4.6	2.4	-0.1	-1.7	-4.3	-9.8	